

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月18日

計画の名称	五所川原市における循環のみちの実現													
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	五所川原市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		193	A	193	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道区域内下水道処理人口普及率を77.0%(H28当初)から78.6%(H31末)に増加させる。 下水道区域内下水道処理人口普及率 = 下水道処理人口(人) / 下水道区域内行政人口(人)	77%	78%	79%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	五所川原市	直接	五所川原市	管渠(汚水)	新設	中部処理系統汚水枝線整備	200mm L=1,848m A=24.9ha	五所川原市						187	-	
	A07-002	下水道	一般	五所川原市	直接	五所川原市	管渠(汚水)	-	調査・設計等	委託費(管渠L=1,500m)	五所川原市						3	-	
	種別2:全種																		
	A07-003	下水道	一般	五所川原市	直接	五所川原市	-	-	調査・設計等	効率的整備計画の見直し	五所川原市							3	-
	種別2:全種																		
												小計						193	
											合計						193		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	50	47	0	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	50	47	0	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	50	47	0	0	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 五所川原市における循環のみちの実現

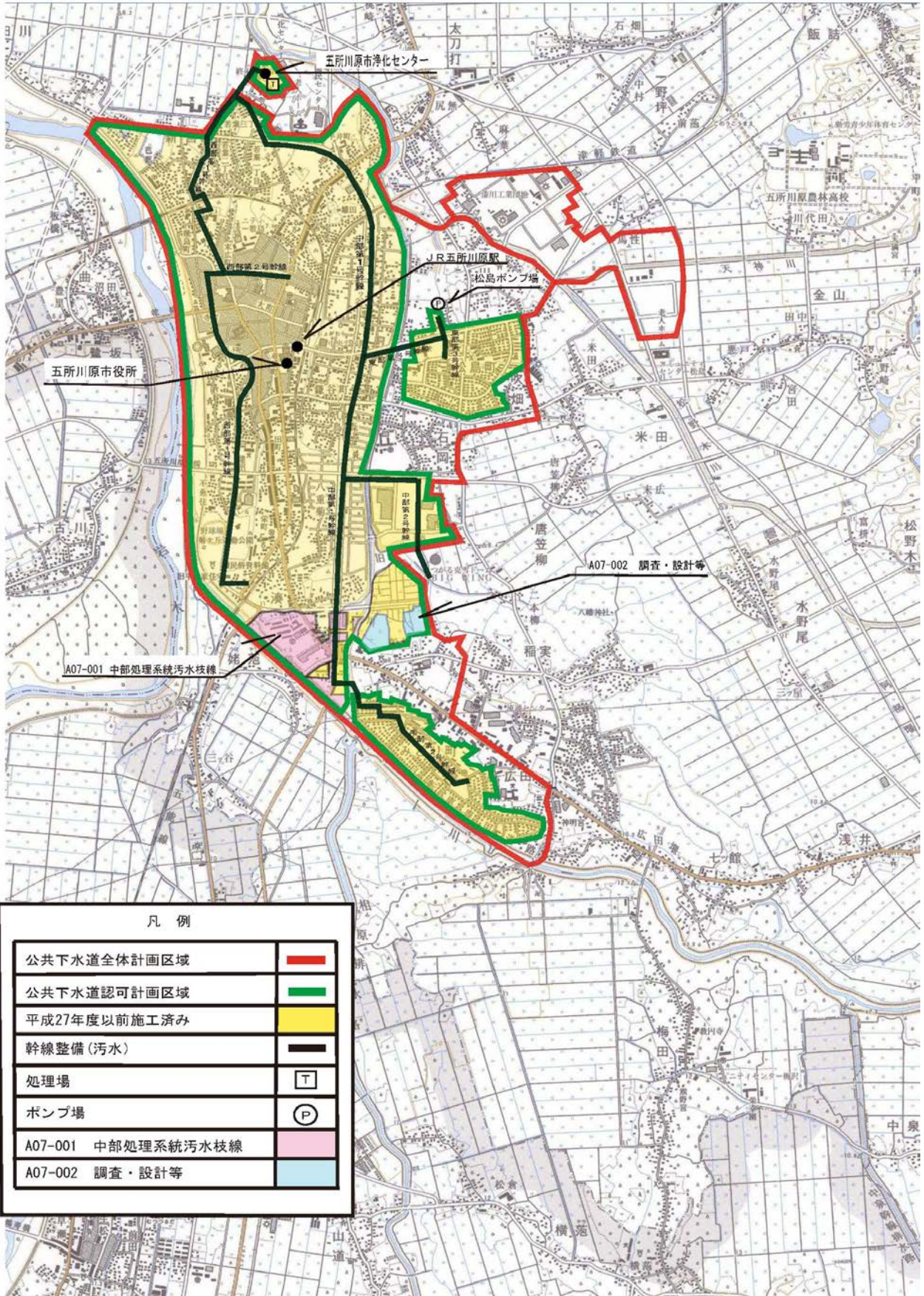
事前評価	チェック欄
<p>I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 下水道事業による認可計画面積541haのうち平成27年度末までに約502haが整備されており、今後も引き続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。</p>	○
<p>I. 目標の妥当性 地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 1) 地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標達成に向け定量的指標を設定している。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は当市の下水道普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 事業内容は下水道整備に関わる事業としており、計画の目標と整合している。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 基幹事業の枝線管渠と市単独事業による端部枝線(単独管)整備を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熱度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性) 1) 地域毎に住民説明会を行い、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。</p>	○

計画の名称 五所川原市における循環のみちの実現

計画の期間 平成28年度～平成31年度(4年間)

交付対象

五所川原市



計画の名称	五所川原市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成28年度～平成31年度(4年間)	交付対象	五所川原市

